

7 構想推進のために

(1) 時代に応じた行財政運営

【現状と課題】

計画的な行政運営を進めるには、町民の意見を反映させた行政評価を行うとともに、PDCAサイクルを徹底した事業運営に努めることが必要です。また、公共施設については、管理運営コストが増えているため、施設の統廃合や遊休施設の利活用、除却などが課題となっています。

行政サービスについては、サービスの向上や事務処理の効率化を進めており、今後も、電算システム共同事業組合等と連携し、事務の効率化を図る必要があります。

町村合併の効果や行政改革の取り組みにより、財政運営が安定しつつありますが、合併後10年が経過する平成28年度以降、国から配分される普通交付税が段階的に縮小し、財源不足が深刻化することが予想されることから、中・長期的な財政計画を策定し、安定した財政基盤の確立を図るとともに、健全財政を堅持し、計画的な行財政運営に努める必要があります。

【施策の展開（基本方針）】

PDCAサイクルにより各種事業を適正に評価するとともに、公共施設の統廃合及び遊休施設の利活用等を積極的に行います。また、行政サービスの維持向上を目指す一方、事業の効率化に努めます。

持続可能な財政運営に向け、身の丈に合った財政運営を行うとともに、安定した財政基盤を確立します。

【具体的な施策】

施策・事務事業名	施策・事業の概要	新・継 の別	期間	事業実施者
計画的な行政運営の 推進	・行政改革大綱の策定及び行政改革の 推進に努めます。	継続	長期	町
	・公共施設の有効活用及び統廃合の検 討を行います。	新規	長期	町民、町
	・PDCAサイクルの徹底を図ります。	新規	長期	町
行政サービスの効率 化、適正化	・民間委託、指定管理者制度を推進し ます。	継続	長期	民間企業、 関係団体、 自治会、町 民、町

	・情報化等事務の効率化と窓口サービスの向上に努めます。	継続	長期	関係団体、町
	・研修機会の充実等による職員の人材育成を図ります。	継続	長期	町
持続可能な財政運営の確立	・中・長期財政計画を策定し、計画的な財政運営を行います。	継続	長期	町
	・経費の節減・合理化による歳出の削減に努めます。	継続	長期	町民、町
	・職員のコスト意識の醸成を図ります。	継続	長期	町

(2) 新たな広域連携

【現状と課題】

周辺の関連自治体とさまざまな分野で連携し、広域的な取り組みを行っています。まち・ひと・しごと創生法が制定され、定住自立圏構想など、新たな広域連携の取り組みも検討されていることから、一つの町で取り組むより広域化することで効果の高いものについては、積極的に連携して取り組む必要があります。

【施策の展開（基本方針）】

関係市町村との広域的な取り組みを推進するとともに、新たな枠組みやネットワークによる広域的な取り組みを実践します。

【具体的な施策】

施策・事務事業名	施策・事業の概要	新・継の別	期間	事業実施者
広域行政の充実	・能代山本広域市町村圏組合や近隣市町村などと連携・協力することにより、広域行政の充実を図ります。	継続	長期	関係市町村、町
	・多様な町民のニーズに対応するため、定住自立圏構想に基づく施策・事業を積極的に実施します。	新規	長期	関係市町村、町